

## 背景

- 本県の外国人1人当たりの観光消費額は1.8万円（全国44位）と低迷しており、観光消費額の増加のためにはインバウンド観光客の滞在時間を延伸させる仕組みが必要。
- 観光庁の調査（令和2年）によると、インバウンド観光客の2割が旅行の途中で体験型観光コンテンツを対面で購入しているため、インバウンド観光客の地域回遊への誘導には、ニーズに応じてアクティビティ、ガイド及び交通を合わせたツアーの販売を対面で行えるコンシェルジュ機能を持った窓口の設置が効果的。
- 急速に観光需要が回復するなか、インバウンド観光客の地域回遊を促すことで、満足度向上や観光消費額の増加につなげる。

## 事業概要

地域の観光コンシェルジュ機能(※)を創出するため、インバウンド観光客に対応した拠点（＝アクティビティ・ベース）の整備に要する経費に対し助成

※ 多言語対応可能なコンシェルジュの配置、地域のアクティビティ業者とのネットワーク形成、地域のアクティビティ等を活用した高付加価値ツアーの造成等

- 対象者：観光事業者等
- 対象経費：コンシェルジュ設置費、人材育成費、ツアー造成費等
- 補助額：上限1,000万円/事業者
- 補助率：1/2以内

## イメージ

- ・ 地域のアクティビティやガイド、交通を合わせた高付加価値ツアーを造成・販売
- ・ 県内を訪れたインバウンド観光客のニーズに応じたツアーをコンシェルジュが提案

